

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名（廿日市市立宮園小学校）

- ① 教科等 道徳
- ② 学年 第3学年
- ③ 主題名（資料名） ぼくらのためにありがとう（2－（4）感謝）  
（「ぼくらのビオトープ」 自作資料）
- ④ 本時のねらい 「ふるさと宮園ビオトープの会」の人たちがビオトープに込めた思いを知った主人公の気持ちを考えることを通して、日頃当たり前とと思っていることが多くの人に支えられていることに気付かせ、自分の生活を支えてくれている人々に対し、尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。
- ⑤ 学習の流れ（1時間目／全1時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価の観点 (評価方法)
<p>1 ビオトープの素敵なおとこについて出し合う。</p> <p>2 資料「ぼくらのビオトープ」を聞いて話し合う。</p> <p>○たかしは、どんな気持ちでビオトープで活動しているでしょう。</p> <p>○転校した友だちがビオトープを懐かしがっていると聞いて、たかしはどう思ったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真等を提示し、資料に関わる体験を想起させ、興味・関心を持たせる。</li> <li>・場面絵を提示しながら読み聞かせし、場面の様子が捉えやすいようにする。</li> <li>・自分たちのビオトープに対する思いと同じことを確認する。</li> <li>・「学校の宝物」という言葉に着目させる。</li> </ul>	
<p>○おじさんの話を聞いて、ビオトープでの体験が一つ一つ頭の中に浮かんでいるたかしは、どんなことを考えているでしょう。</p> <p>○たかしは、どんな気持ちでビオトープに駆け出したのでしょうか。</p> <p>3 ゲストティーチャーの話を聞いて、自分の生活を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り返しや揺さぶりをしながら、ぞんぶんに話し合わせ、自分たちのことを考えてくれている地域の人の思いに気づかせる。</li> <li>・自分たちのビオトープについて、新たな気づきをもたせ、たかしの気持ちに共感させる。</li> <li>・地域の方の思いを聞き、体験活動を想起しながら宮園小オリジナル「心のノート」に書きこませ、思いを伝えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃当たり前に活動できていたのは、地域の人の地道な活動に支えられていたからだということに気づき、地域の人たちに対し、尊敬と感謝の気持ちをもつことができたか。</li> <li>[主人公の心情についての思考・表現]</li> <li>(ワークシート、観察、発言)</li> </ul>
<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの自分に何ができそうか考えさせる。</li> </ul>	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 自分とのかかわりでとらえた感謝する気持ちを具体的な言葉で表わし、ねらいとする道徳的価値についての考えを深めることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 自分とのかかわりで道徳的価値について考えさせるために、各教科等の体験活動と関連をもたせる。
- 体験を想起しやすくするために、児童自身の写真や体験活動の様子を掲載するなど宮園小オリジナル「心のノート」の形式を工夫する。
- 自分の考えを出し合いぞんぶんに話し合うことができるように、発言内容を類型化した構造的な板書を工夫し、自分とは異なる見方・考え方と比較しやすくする。